

個人投資家向け会社説明会

—Change & Challenge
更なる成長に向けて—

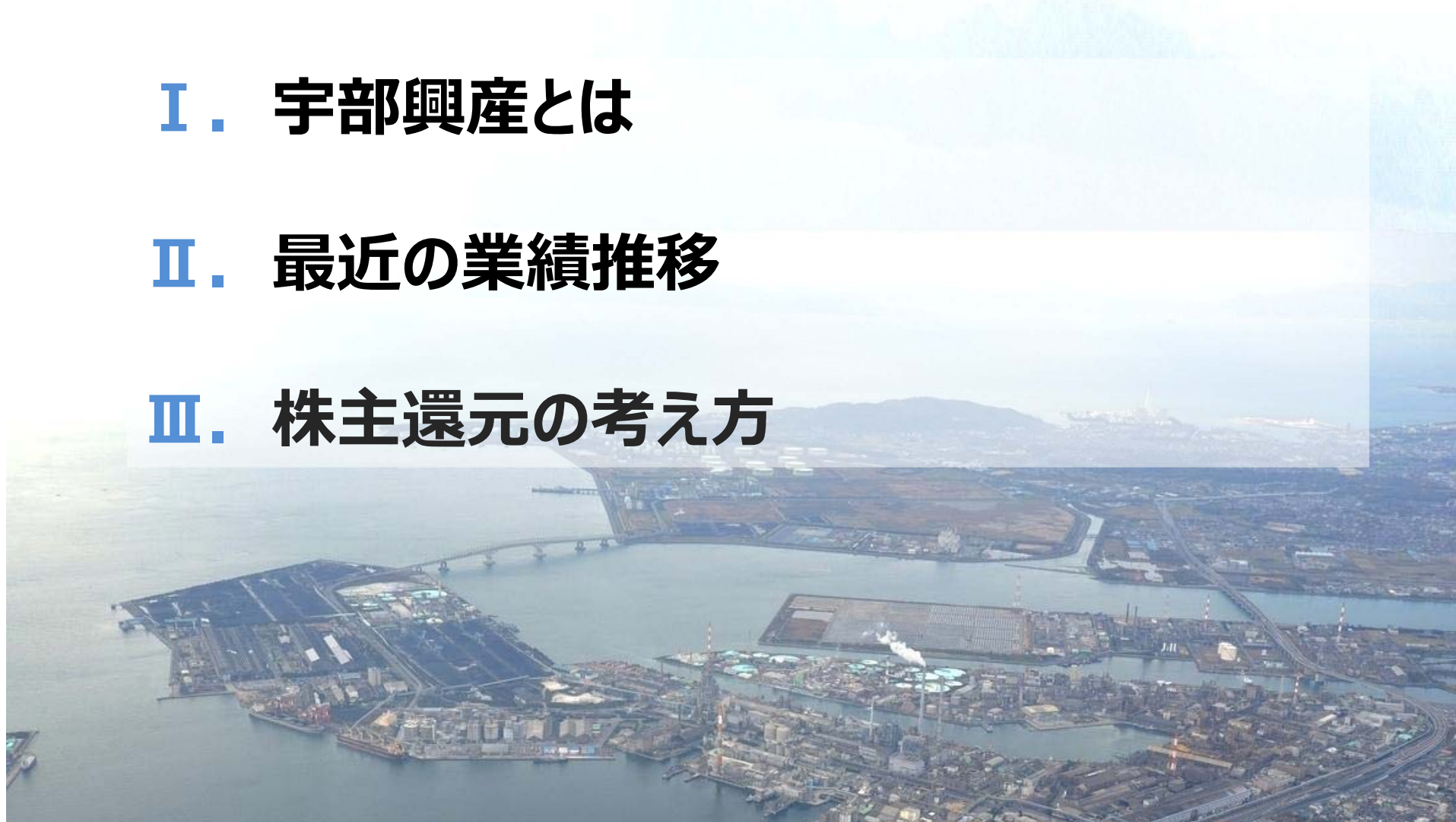
2014年12月

宇部興産株式会社

経営管理室 IR広報部
【証券コード：4208】

説明内容

- I. 宇部興産とは**
- II. 最近の業績推移**
- III. 株主還元の考え方**



I. 宇部興産とは

1. 会社概要

UBE

- ◆社名 宇部興産株式会社
- ◆創業 1897（明治30）年6月
- ◆設立 1942（昭和17）年3月
- ◆代表者 竹下 道夫



- ◆本社（東京） 東京都港区芝浦
（宇部） 山口県宇部市
- ◆資本金 584億円（2013年度末）
- ◆売上高 6,505億円（2013年度）
- ◆営業利益 244億円（2013年度）
- ◆連結子会社数 65社（2013年度）
- ◆連結従業員数 11,225人（2013年度末）
- ◆上場取引所 東京・福岡（1949年上場）
- ◆単元株式数 1,000株

* 2013年度：2014年3月期

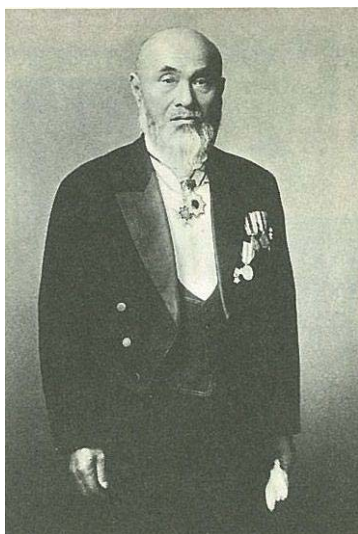
2. グループビジョン

UBE

UBEグループは「**共存同栄**」「**有限の鉱業から無限の工業へ**」という**創業理念**を踏まえ、下記のグループビジョンを掲げています。

技術の翼と革新の心。世界にはばたく私たちのDNAです。

フロンティアスピリットを胸に無限の技術で世界と共生するUBEグループは、次代の価値を創造し続けます。



初代社長 渡辺 祐策

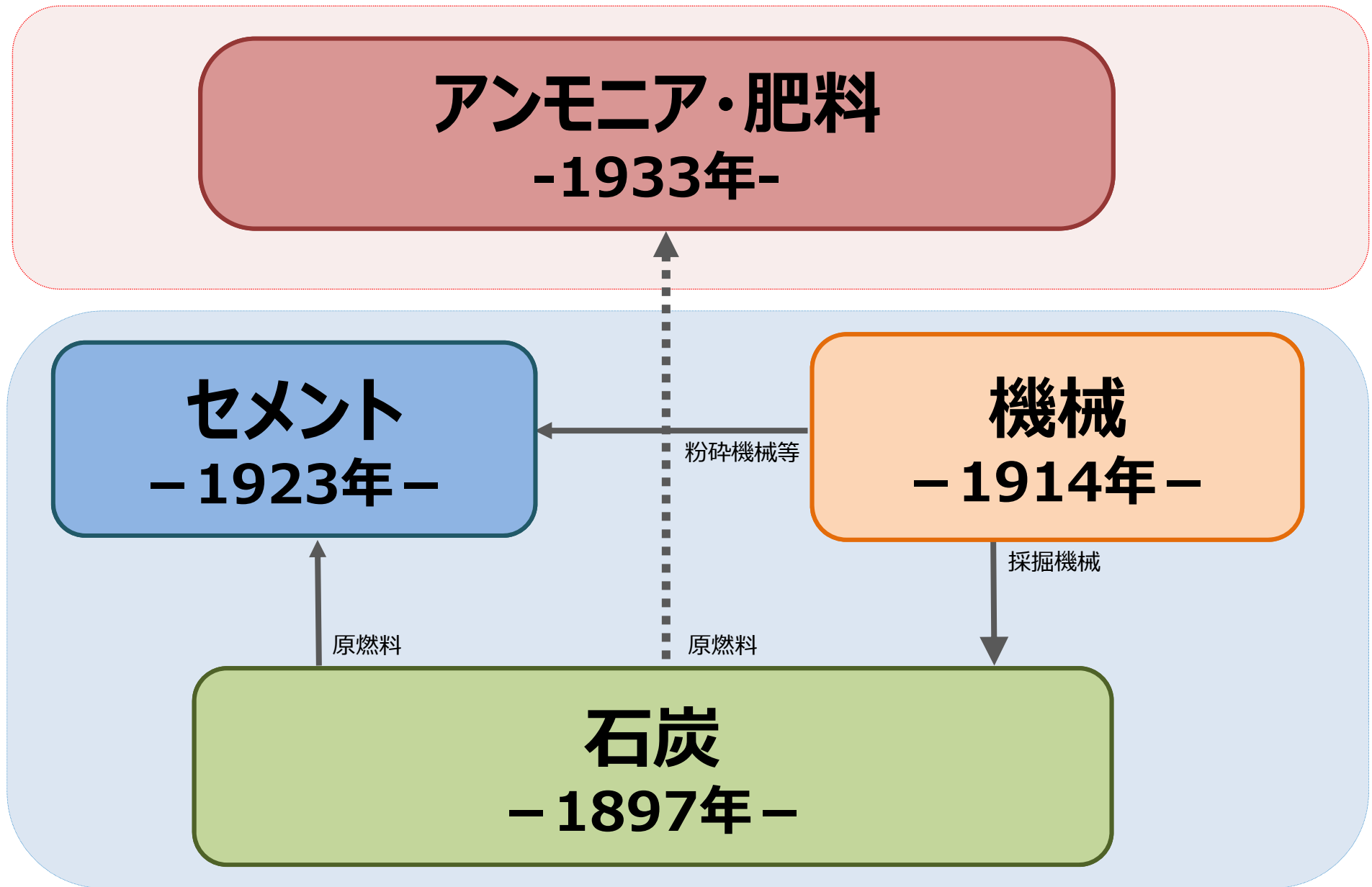
UBEグループは1897年、発祥の地、宇部で始めた石炭採掘事業以来、時代と産業構造の変化に対応し、常に自己変革を行ってきました。

その中で一貫して変わらなかった価値—それが「技術」と「革新」です。

独創的な技術力による「モノづくり」中心の事業活動と、時代を先取りし、変化を怖れないチャレンジ精神は、現在もUBEグループ共通の価値観として、脈々と受け継がれています。

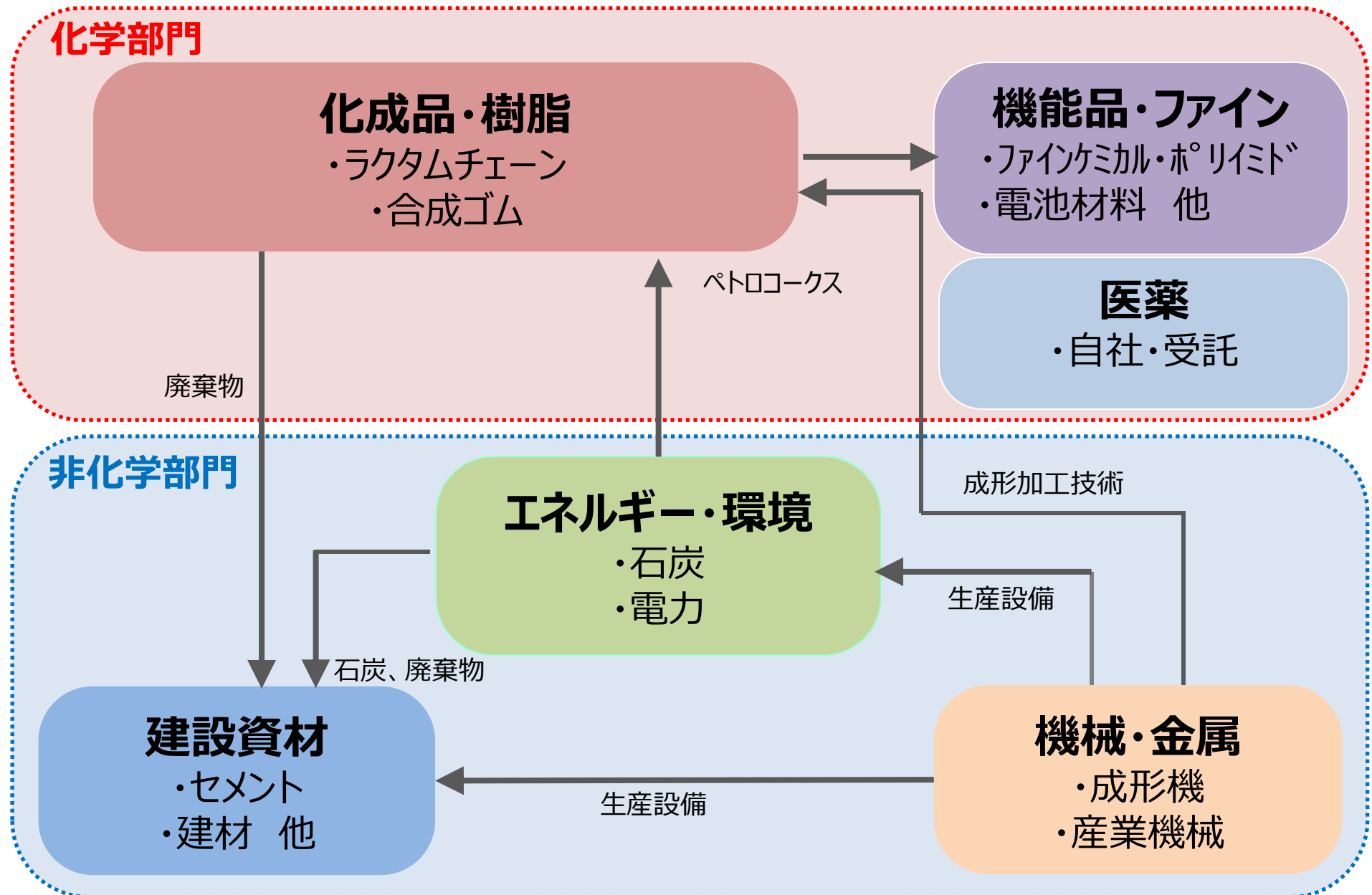
3. UBEのユニークさ(1)

UBE



4. UBEのユニークさ(2)

UBE



5. 沿革-事業の歩み

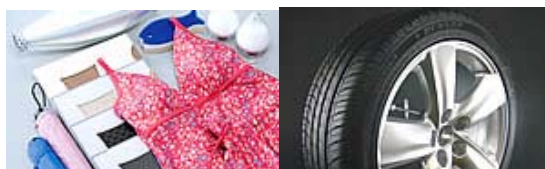
化成品樹脂 1933年 宇部窒素工業(株)設立	1955年 カプロラクタム工場稼働	1964年 千葉石油化学工場稼働	1967年 堺工場稼働	1973年 宇部丸善ポリエチレン(株)設立	1993年 スペインPQM社に資本参加	1997年 タイで操業開始	2004年 宇部丸善ポリエチレン(株)設立	2014年 マレーシア合成ゴム工場稼働
機能品・ファイン	1967年 宇部日東化成(株)設立	1982年 ポリイミド製造設備稼働	1994年 電池材料用セパレーター製造設備稼働	1998年 電池材料用電解液設備稼働	2003年 宇部日東化成子会社化	2004年 機能品・ファインセグメント新設	2013年 中国電解液工場稼働	
医薬	1995年 医薬品工場完成 (以降、第4工場まで)		2011年 医薬品セグメント新設					
建設資材 1923年 宇部セメント製造(株)設立	1955年 伊佐セメント工場稼働	1965年 苅田セメント工場稼働	1997年 宇部マテリアルズ(株)設立	1998年 宇部三菱セメント(株)設立	2013年 宇部マテリアルズ子会社化			
機械・金属形成 1914年 匿名組合 宇部新川鉄工所設立	1999年 宇部興産機械(株)設立		2013年 宇部興産機械とサービス会社 宇部テクノエンジニアが合併					
エネルギー・環境 1897年 匿名組合 沖の山炭鉱組合設立	1980年 沖の山コールセンター完成		2001年 エネルギー・環境セグメント新設		2004年 IPP設備稼働	2014年 メガソーラー発電設備稼働		

6. 事業概要 (セグメント別売上高シェアと主要製品)

UBE

化成品・樹脂

売上シェア35%
(2,305億円)



- ・合成ゴム
- ・ラクタムチェーン (ラクタム・ナイロン・工業薬品)

機能品・ファイン

売上シェア10%
(631億円)



- ・機能性材料 (ポリイミド・電池材料など)
- ・ファインケミカル

医薬

売上シェア2%
(97億円)



- ・医薬[原体・中間体] (自社医薬／受託医薬)

建設資材

売上シェア34%
(2,235億円)



- ・セメント
- ・資源リサイクル
- ・建材
- ・石灰石
- ・生コン
- ・カルシア、マグネシア など

機械・金属成形

売上シェア12%
(755億円)



- ・成形機 (ダイカストマシン・射出成形機など)
- ・産業機械、橋梁
- ・製鋼品

エネルギー・環境

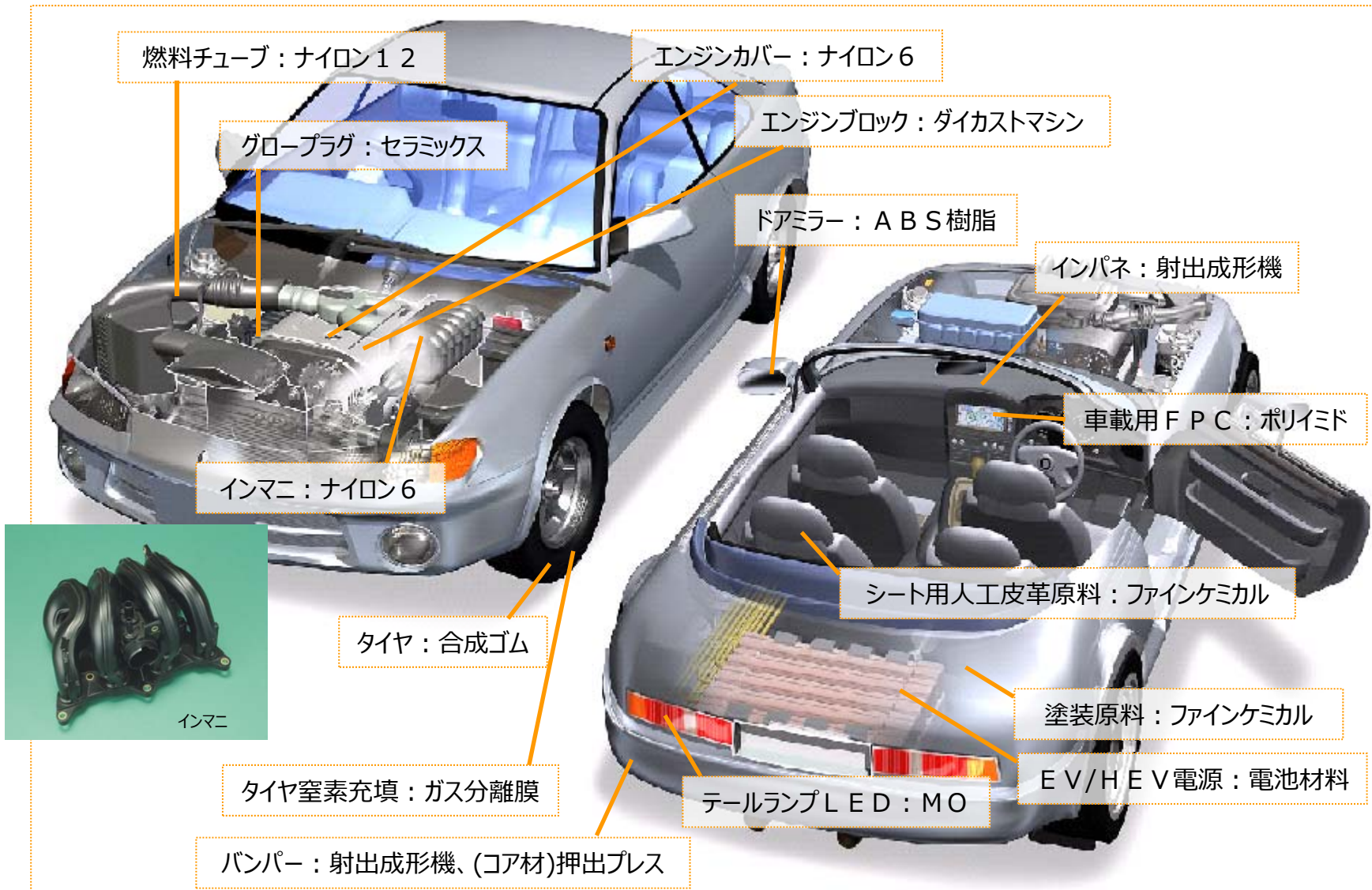
売上シェア9%
(590億円)



- ・石炭 (販売炭／預り炭)
- ・電力 (電力卸供給事業(IPP)／自家発電)

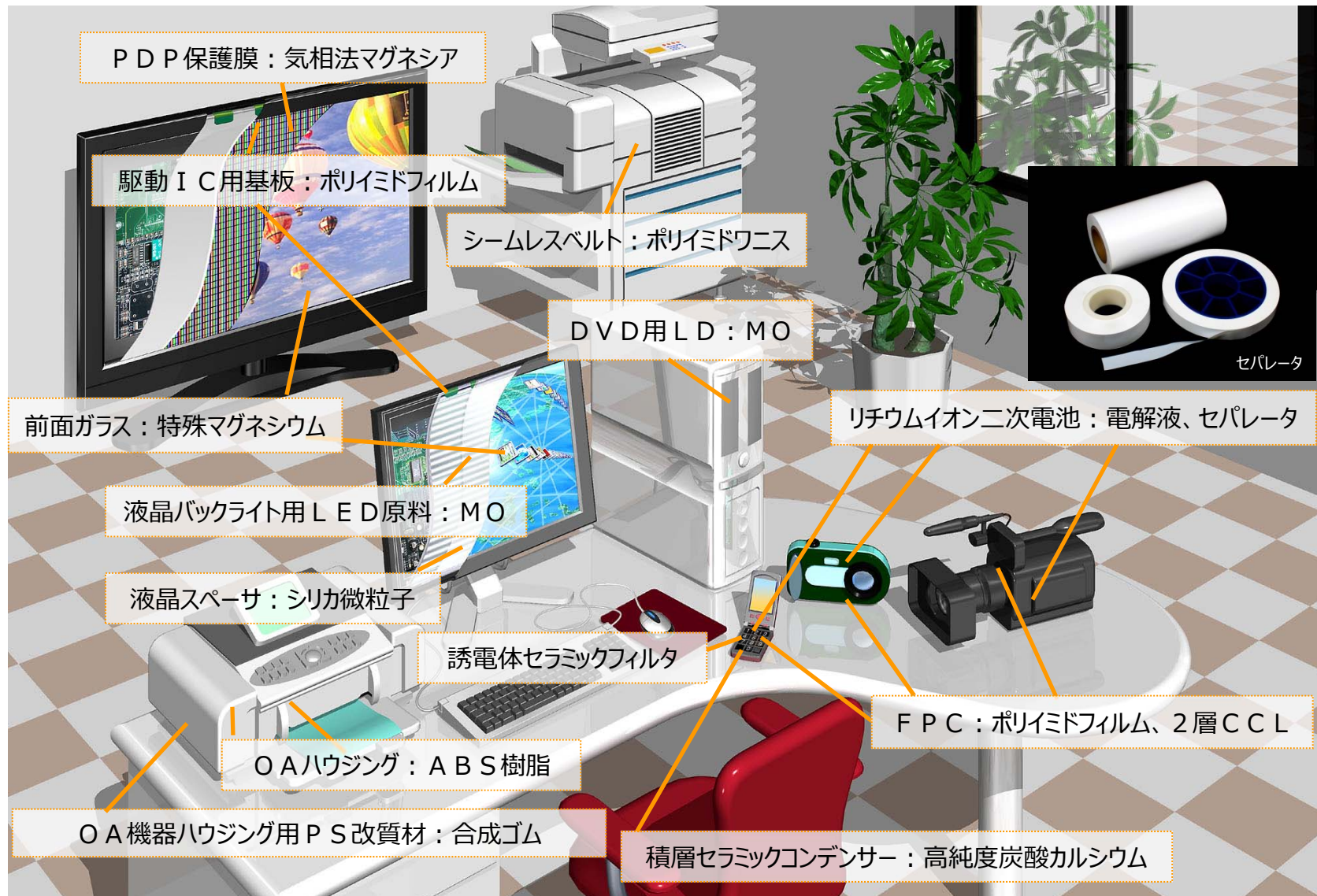
- ・2013年度の連結売上高は6,505億円。
- ・() は2013年度のセグメント別売上高。
- ・その他のセグメントを割愛し、セグメント間の内部売上が消去されていないため、各シェアの合計は100%になっておりません。

7. 身近なUBE製品（自動車）



8. 身近なUBE製品 (情報・電子・通信)

UBE



9. 身近なUBE製品 (航空・宇宙、エネルギー・環境、一般産業、インフラ)



10. 身近なUBE製品 (医薬・生活関連)



11. 全国の事業所 (宇部興産・単独)

宇部地区主力工場地帯



伊佐セメント工場



12. 全世界の拠点



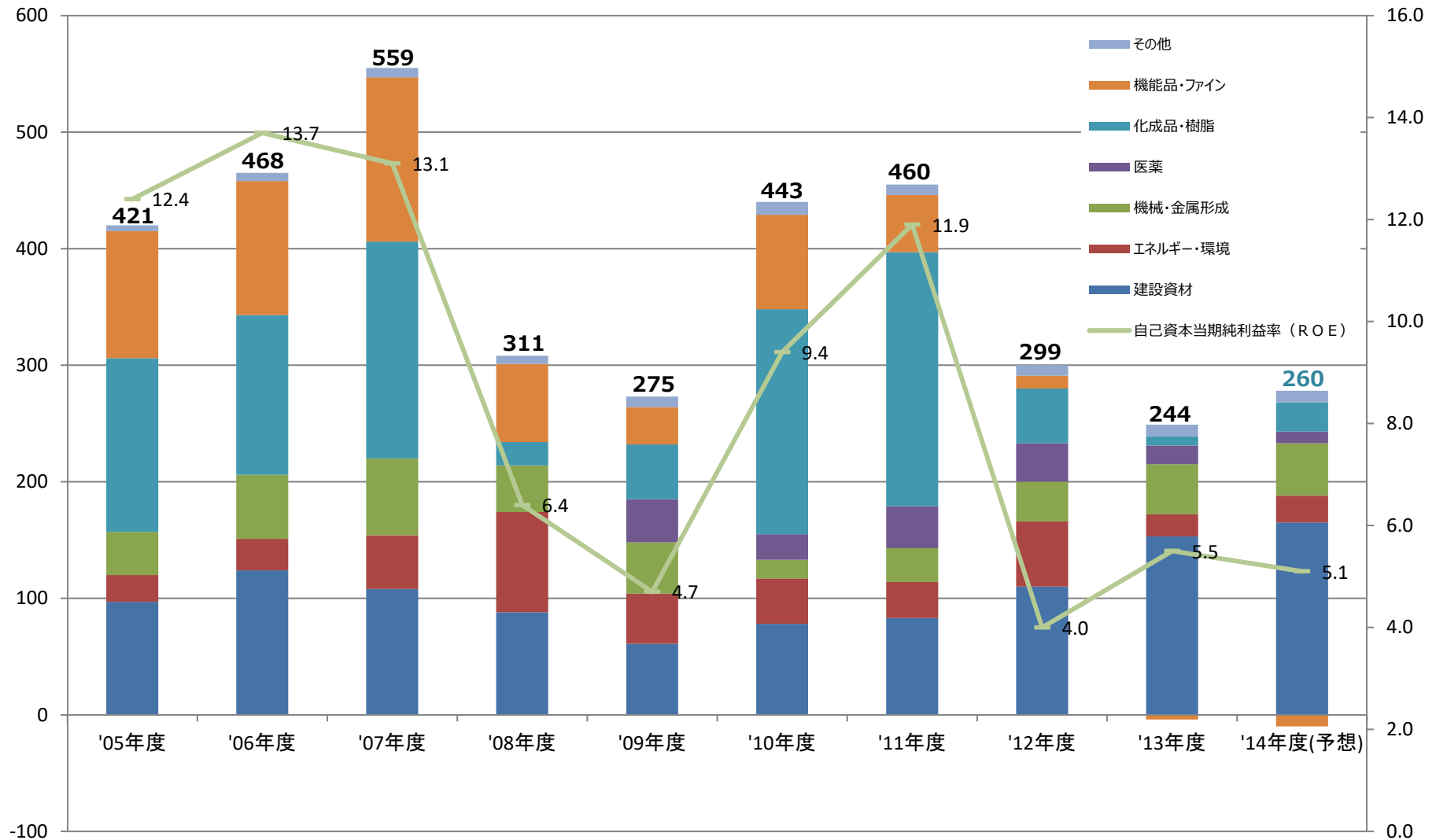
Ⅱ.最近の業績推移

13. 収益力の推移

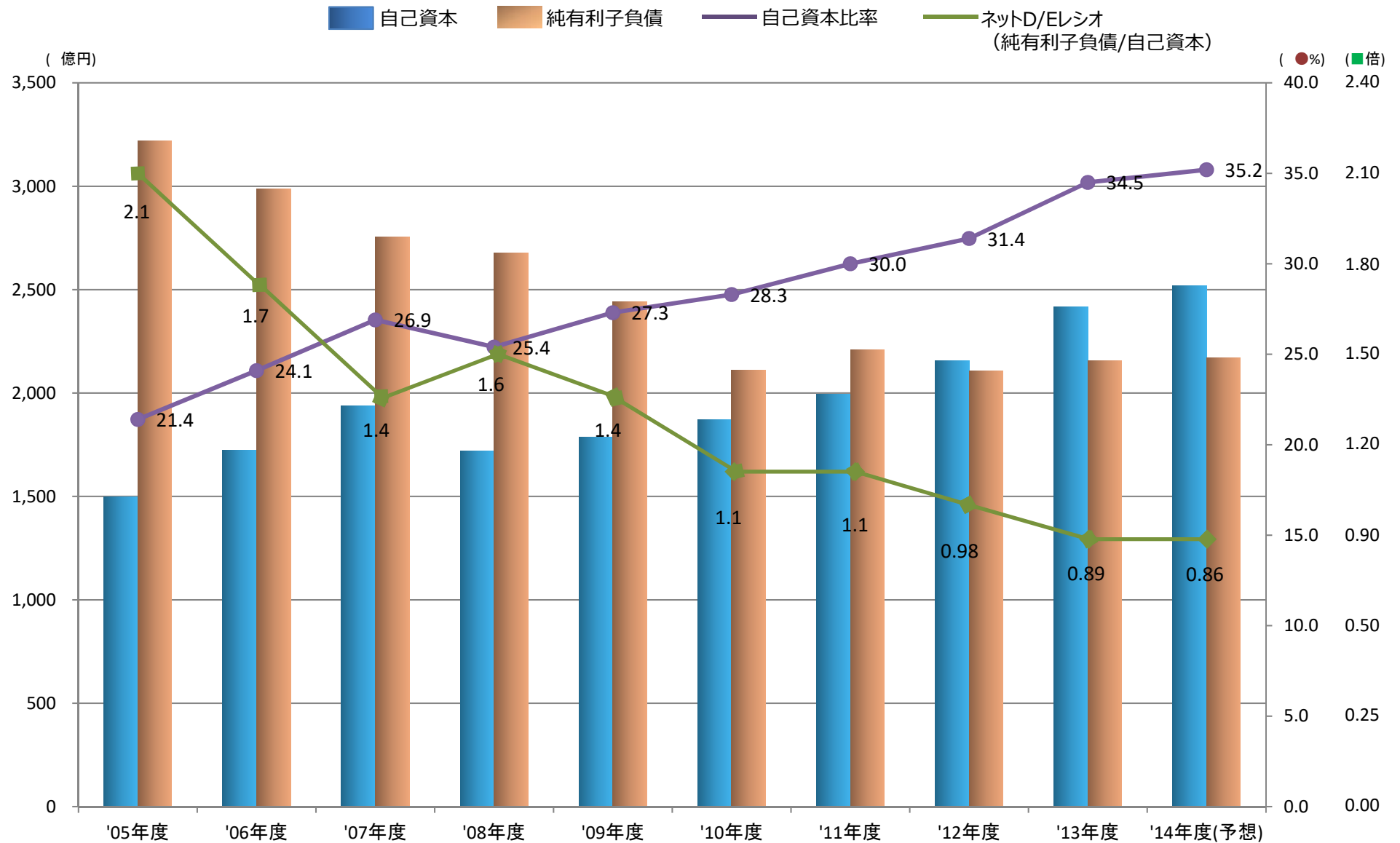


営業利益（億円）
（棒グラフ）

利益率（%）
（折れ線グラフ）



14. 財務体質の推移



15. '14年度業績予想 – 主要項目 –

UBE

(単位：億円)

項目	'13年度	'14年度	差異
売上高	6,505	6,600	95
営業利益	244	260	16
経常利益	186	220	34
当期純利益	126	125	△1
純有利子負債	2,157	2,170	13
自己資本	2,417	2,520	103
配当(円/株)	5.0	5.0	0

16. '14年度業績予想 –事業部別損益–

(単位：億円)

事業部	売上高			営業利益		
	'13年度	'14年度	差異	'13年度	'14年度	差異
化成品・樹脂	2,305	2,250	△55	8	25	17
機能品・ファイン	631	665	34	△4	△10	△6
医薬	97	80	△17	16	10	△6
建設資材	2,235	2,260	25	155	165	10
機械・金属成形	755	790	35	44	45	1
エネルギー・環境	590	660	70	19	23	4
その他	288	295	7	10	10	0
調整額	△398	△400	△2	△6	△8	△2
計	6,505	6,600	95	244	260	16

UBEグループのあるべき姿

- 差別化された化学事業を中心に発展
- 多角化で経営環境の変化に対する安定性を確保

化学部門：成長の原動力

非化学部門：安定収益基盤



今後の取り組み

収益改善に向けスピードアップ

基盤強化により
利益のさらなる積み上げ

- 中国での他社大增設による供給過剰でラクタム市況低迷
- ナイロン・合成ゴムは堅調

ラクタム：外販中心から競争力のあるナイロン原料へ

- ① 徹底的なコストダウン
- ② ラクタムの自家消費率アップ



ナイロン：事業拡大のスピードアップ

- ① 押出用途 グローバルNo.1へ能力増強
- ② 射出用途 コンパウンドの強化・拡大
- ③ 委託生産・M&A・アライアンス



合成ゴム（ポリブタジエン）：

大手タイヤメーカーとの協働による差別化・
能力増強で、高機能グローバルNo.1へ



ポリイミドチェーン：電子材料の低価格化とユーザー地図の変化

- ①フィルム：韓台ユーザーへの更なるシェアアップと薄膜化
- ②分離膜：航空機防爆用途など新規需要の取込み



電池材料：車載用途の立上り遅れ・競争激化

- ①電解液：車載用途の強化
- ②セパレーター：乾式製法の強み発揮・塗布での機能強化

ファインケミカル事業：石炭化学を核とする事業拡大 (エココーティング事業・ライセンス事業)



医薬事業：ビジネスモデルを発展させ安定的成長軌道へ

- ①自社 パイプラインの充実と既存品の適応症拡大
- ②受託 設備・技術力拡充、サプライチェーン強化



建設資材事業

セメント・生コン：堅調な需要環境において収益を最大化
石灰石、カルシア・マグネシア：石灰石チェーンの強みを発揮



石灰石鉱山

機械・金属成形事業

製品とサービスの一体化の効果を追求し、グローバル・ネットワークの最適活用により、成長する海外市場での収益拡大を図る



エネルギー・環境事業

石炭事業：需要増への対応（例：石炭火力発電所）
電力事業：地域へ安定的に電力供給
再生可能エネルギー事業：メガソーラー、バイオマス



- ・'14年度…反転攻勢のスタート年として位置付け
- ・事業環境は引き続き厳しいが着実に手を打ち、
早期に**化学部門の利益を向上させ、UBEグループとして
あるべき収益構造への復活を目指す**
- ・改善された財務体質の下、攻めの投資(含むM&A)も拡大

⇒再び成長軌道へ



Ⅲ.株主還元の考え方

配当方針

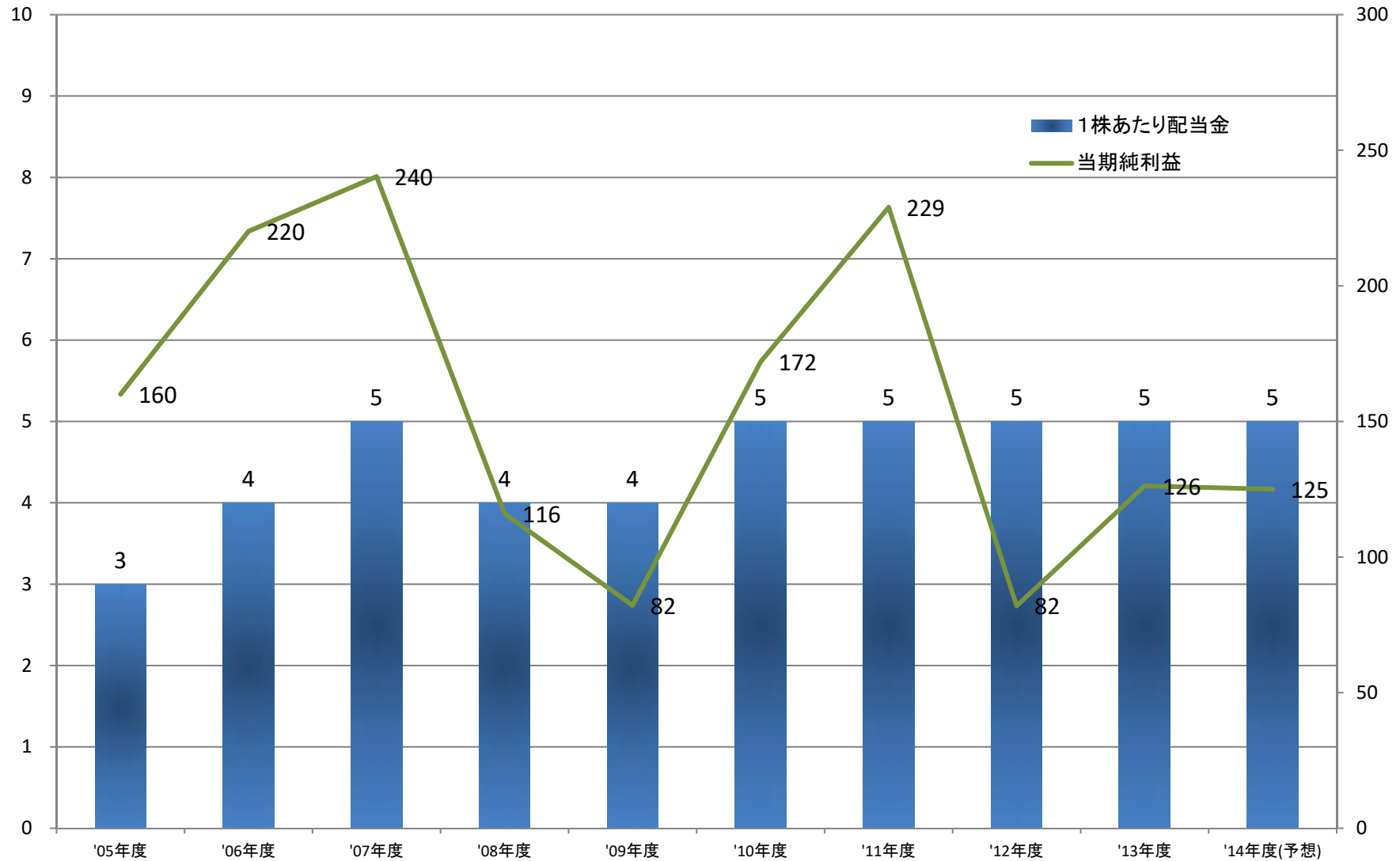
安定配当の意識を堅持し、今後の業績改善によるさらなる向上を目指します。

**配当性向30%以上を目標
かつ
安定配当（'10年～、5円/株を継続中）**

23. 配当の推移

1株あたり配当金(円)

当期純利益 (億円)



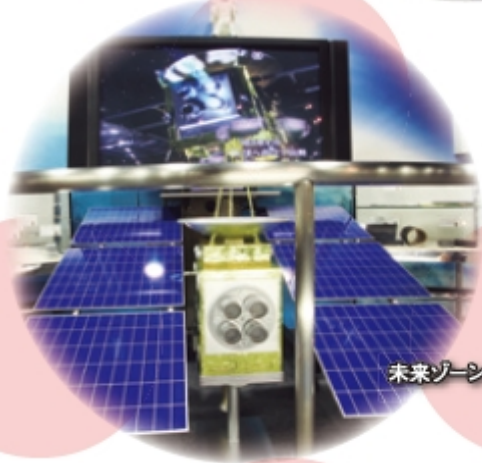
配当性向	'05年度	'06年度	'07年度	'08年度	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度	'13年度	'14年度(予想)
	18%	18%	21%	35%	49%	29%	22%	61%	41%	42%

皆様とUBEの出会いの広場
アイ(会・愛)プラザ

化学はみんなの しあわせのために



先端技術紹介ゾーン



未来ゾーン



UBE DOG
ロボくん



製品・技術紹介ゾーン

UBEグループは、たえず社会と産業の変化に対応して自己変革を続けながら、多彩な製品を作り出してきました。モノづくりの力と変化をおそれないチャレンジ精神、すべては人々のしあわせのために…。100年の時を超え、受け継がれてきたDNAは未来への創造力。化学の可能性をi-Plazaで実感してください。

技術の翼
革新の心
Wings of technology
Spirit of Innovation

UBE

UBEグループ総合案内施設（宇部本社1階）

■開館時間：9:00～17:00 ■休館日：土・日、祝日及び会社休業日

■ご利用方法：当施設は予約制になっております。

事前に下記までご連絡ください。

UBE i Plaza
Communication & Information Plaza

宇部興産株式会社

〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96 TEL.(0836)31-2111(見学受付)
<http://www.ube.co.jp>

技術の翼 革新の心

Wings of technology
Spirit of innovation

UBE

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もあり得ますことをご了承願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく複製または転用などを行うことはできません。